

名称 INIS (International Nuclear Information System)

日本語名 国際原子力情報システム

親機関 IAEA

住所 Wagramerstrasse 5, P.O. Box 100 A, 1400 Vienna

国名 AUSTRIA

電話 43-1-2360

ファックス 43-1-2345-64

1. タイプ：国際的データ・情報システム

2. 地理的範囲：世界

3. 目的

INISの設立は1965年にさかのぼる。当時原子力の安全利用に関する情報交換を促進する必要があると認識され、米国及び旧ソ連の専門家が招聘され原子力に関する国際情報システムについて検討した結果、分散型システムを提案した。世界で最初の分散型データベースであるが、一つには国によって情報処理技術の背景や経緯が異なるために、開発段階に応じて各国の情報に対する要求に応えるためであった。この提案はIAEAによって国際的な専門家会議に提出され、詳細なシステム設計が議論された。1969年2月、IAEAの理事会でINISの設置が認められた。最初の成果はジャーナル "INIS Atomindex"と関連するコンピュータテープとして1970年に公表されている。

INISは原子力の平和利用に関する情報システムである。IAEAがメンバー国と関連国際機関の協力を得て運用している。INISは原子力に関する科学・技術文献情報を提供する。文献の範囲は原子力の平和利用に係わるすべての局面についての情報を含んでいる。例えば、一般物理学、高エネルギー物理、ニュートロン・原子核物理から地球科学、環境、廃棄物処理まで広範囲に及んでいる。

4. データ管理

INISは国際的な協力を中心としており、入力データの収集と出力の利用者への提供が分散化された世界最初の国際的情報システムである。データ処理と出版等のみがINIS事務局で実施される。入・出力に対する分散型システムの採用は、カバーすべき分野が広く、また異なった言語で情報を効率的に処理し、情報の利用者にも最大限満足のいくサービスを提供することである。INISのもつ情報の規模は以下のとおりである。

- INISファイルに1,000,000以上の項目を収録
- 毎年8,000項目以上の追加
- 190,000件を越える文献（研究報告、パンフレット、博士論文、特許情報）
- INIS Atomindexの普及（原子力科学・技術の文献要約に関するジャーナル）

5. 協力関係：――

6. 参考文献

IAEA, 1987: Pressing INIS, 63p.